

令和6年度 功 勞 賞 受 賞 者

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴		推薦団体	推 薦 理 由
1	奥山 誠治	平成22年7月～平成24年10月 平成24年10月～令和6年10月 令和6年10月～現在	山形県スケート連盟 理事 山形県スケート連盟 会長 山形県スケート連盟 顧問兼副会長	山形県 スケート 連盟	平成16年に日本スケート連盟公認審判員F級を取得後、県内の各競技会で審判業務に従事。平成22年より理事、平成24年に会長に就任後、よりよい環境整備を求め、新スケート場の開設に向け、関係各所に働きかけるなど尽力した。平成27年1月にスケートインターハイ、平成31年1月と令和5年1月に全日本マスターズスケート大会開催など全国規模の大会を招致し成功に導くなどスケート競技の普及、強化に大きく貢献した。
2	神保 喜弘	平成17年4月～現在 平成24年5月20日～平成28年5月28日 平成28年5月28日～令和4年6月1日 令和4年6月10日～令和6年5月29日	(一社)山形陸上競技協会 理事 上山スポーツ協会副理事長 上山スポーツ協会理事長 上山スポーツ協会副会長	(一社)山形県 陸上競技 協会 上山市 スポーツ協会	山形陸上競技協会理事として、長年にわたり組織運営・競技運営に携わり、県陸上競技界の発展に尽力した功績は大きい。 また、上山市スポーツ協会の副理事長として4年、理事長として6年、副会長として2年務め、本協会の屋台骨の存在として組織の運営・強化に尽力した。上山市陸上競技協会に55年という永い期間携わる中で県縦断駅伝競走の監督やマネージャーも務め、ジュニアから一般選手までの一貫した選手強化に力を注いだ。本市スポーツ少年団の本部長も令和4年度から務める等、本市スポーツの発展に貢献した。
3	田代 祐一	平成16年4月～平成20年3月 平成20年4月～平成24年3月 平成24年～現在	山形県水泳連盟競泳委員・情報システム委員 山形県水泳連盟競泳副委員長・情報システム委員 (一社)山形県水泳連盟競泳委員長・情報システム委員	(一社)山形県 水泳 連盟	平成16年より国民体育大会(現国民スポーツ大会)にコーチとして携わり、平成23年からは監督として多数の入賞者を輩出し、山形県競泳チームの責任者として尽力する等、永年にわたり選手強化に向けた指導により国体やインターハイ、全国中学、全国JOC大会で活躍する選手を育成し本県水泳界の競技力向上に貢献した。また、現在も競泳委員長として県内の選手の強化や指導者のとりまとめ役として活躍しており、その功績は大きい。
4	北村 宇一	平成元年4月1日～平成20年3月31日 平成20年4月1日～平成26年3月31日 平成22年4月1日～平成28年3月31日 平成28年4月1日～令和6年3月31日 令和4年4月1日～現在 令和6年4月1日～現在	山形県卓球協会 理事 山形県卓球協会 強化部長 酒田卓球協会理事長 酒田卓球協会副会長等 山形県卓球協会副会長 酒田卓球協会会長	山形県 卓球 協会	山形県卓球協会役員として長年にわたり、卓球界の普及、発展、競技力の向上を目指して活躍し、その存在は県内外から高い評価と信頼を得ている。卓球技術の指導には特筆するものがあり、地区の小学生選手を全国大会優勝、中学生選手を数多く全国入賞させた。また、長年県協会の強化部長を務め東北総体で数多くの入賞をはじめ、高知国体では監督として成年男子を上位入賞させた。また、地区の副会長在任中の平成30年には日本リーグ(後期)を誘致し、運営において中心的役割を担い大会を成功裡に導いくなど、本県卓球界における功績は大きい。
5	矢口 敬治	昭和50年4月 平成20年4月～平成27年3月 平成27年4月～令和3年3月 令和3年3月～令和5年3月 令和5年4月～現在 令和5年4月～現在	山形県野球連盟審判員登録 新庄地区野球連盟理事 新庄地区野球連盟理事長 山形県野球連盟常任理事 新庄地区野球連盟副会長 山形県野球連盟常任理事 新庄地区野球連盟会長 山形県野球連盟副会長	山形県 野球 連盟	昭和50年に審判員の資格を取得した。その後は、山形県野球連盟審判員としてスポーツ少年団、中学校、高等学校、社会人野球の各種大会の大会運営と競技運営に積極的に参画し、青少年等の心身の健全育成に努めた。また、長年にわたり審判員として活躍する一方、後輩審判員の技術向上のために熱心に指導するなど育成にも尽力した。新庄地区野球連盟の役員に留まらず、新庄市スポーツ協会評議員、山形県野球連盟の常任理事としても本県野球界の発展に尽力した。 令和5年度からは、新庄地区野球連盟会長及び山形県野球連盟副会長に就任し、新庄地区及び山形県全体の野球振興及び野球界発展に務めた功績は大きい。
6	細谷 健一	平成2年4月1日～平成19年3月31日 平成20年4月1日～平成29年3月31日 平成20年4月1日～平成24年3月31日 平成24年4月1日～平成30年3月31日 平成30年4月1日～令和2年3月31日 令和2年4月1日～現在	村山市ソフトボール協会事務局長 最北地区ソフトボール協会事務局長 山形県ソフトボール協会理事 山形県ソフトボール協会理事兼広報委員長 山形県ソフトボール協会理事兼総務委員長 山形県ソフトボール協会副理事長兼総務委員長	山形県 ソフトボール 協会	平成2年度から村山市ソフトボール協会の事務局長を平成19度まで務めるとともに、平成20年度からは山形県ソフトボール協会の理事に就任し、以来、広報委員長、総務委員長を歴任し、現在は総務委員長を兼務しながら副理事長としての重責を担い、山形県ソフトボール協会の運営に欠かせない存在として協会運営に多大に貢献している。
7	鈴木 隆一	平成25年3月21日～現在	山形県バドミントン協会会長	山形県 バドミントン 協会	平成25年より山形県バドミントン協会の会長を務め、競技の指導普及発展に努め、協会組織を取りまとめ、その功績はバドミントン競技ばかりでなく、本県スポーツ界全体の模範となるところである。本県で数回の全国大会開催、全国のつながりを重視して東北・全国をも見据えた取組みの功績は顕著である。また、本県でバドミントン実業団チームを発足し選手の発掘育成に努めるとともに、ジュニア層一般愛好者代表選手層にも貢献し、山形県バドミントン界に多大な影響を与えた功績は非常に大きい。
8	佐藤 美代子	平成8年3月～平成17年3月 平成8年3月～平成22年3月 平成23年3月～平成27年3月 平成17年3月20日～平成27年3月20日 平成27年3月21日～平成31年3月20日 平成31年3月21日～現在	山形地区バドミントン協会競技副委員長 山形県レディースバドミントン連盟 競技委員長 山形県レディースバドミントン連盟 理事長 山形県バドミントン協会事務局長 山形県バドミントン協会副理事長 山形県バドミントン協会理事長	山形県 バドミントン 協会	平成8年から28年間、バドミントン協会に携わり、強い責任感とリーダーシップを存分に発揮しながら山形県バドミントン協会の事務局長や理事長として競技運営及び組織力向上に向けて数々の難題や課題を解決しながら県協会の中心的役割を担ってきた。 また、国内や国際大会でのメダリストとして現在も競技を続け、生涯現役を掲げて率先垂範する姿により周囲からの人望と信頼を高め、山形県バドミントン協会内外で指標と仰がれる存在である。本県バドミントン競技の振興と発展に尽力した功績は誠に顕著である。

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴		推薦団体	推 薦 理 由
9	鈴木 清和	平成20年4月1日～令和元年3月 令和元年4月～現在 平成17年4月～令和2年3月 令和2年4月～現在	山形県剣道連盟居合道部会事務局長 山形県剣道連盟居合道部会理事長 鈴川剣道スポーツ少年団副会長 鈴川剣道スポーツ少年団顧問	山形県 剣道 連盟	永年にわたり山形県剣道連盟居合道部会の役職を歴任するとともに、居合道の普及振興・強化に携わるとともに、指導者の範として後進の指導者育成にも尽力している。また、強化委員長として選手育成にも力を注ぎ、東北大会や全国大会で入賞する選手を輩出した。 平成8年4月には山形市のスポーツ少年団指導者賞を受賞するなど、青少年の健全育成に向けてスポーツ少年団の指導者として長年、子供たちの指導にあたるなど本県剣道界への功績は大きい。
10	遠藤 隆夫	平成7年～平成19年 平成20年～平成23年 平成24年～平成28年 平成29年～現在	山形県空手道連盟常任理事、強化部員 山形県空手道連盟副理事長、強化本部長 山形県空手道連盟副理事長、競技本部長 山形県空手道連盟 理事長	山形県 空手道 連盟	平成20年度の大分国体から4年間本県空手道の国体監督を務め、天皇杯得点獲得に寄与した。また、本協会の強化本部長在職中は、山形県ジュニアアカデミーを毎年開催して競技人口の拡大を図った。平成7年度から現在に至るまで、山形県空手道連盟の中核として組織運営及び競技力向上に努め、本県空手道界への功績は大きい。
11	高橋 伊万夫	平成7年～平成28年 平成29年～平成30年 平成31年～令和2年 令和3年～現在	山形県トライアスロン協会副会兼事務局長 山形県トライアスロン協会副会長 山形県トライアスロン協会会長代行 山形県トライアスロン協会副会長	(一社)山形県 トライアスロン 協会	山形県トライアスロン協会(任意団体)の組織づくりに携わり、平成2年4月1日の協会発足当時より長年にわたり事務局長を務めた。令和5年6月1日に一般社団法人 山形県トライアスロン協会を設立し、日本トライアスロン連合に加盟した後は、平成23年より東北ブロック理事長に就任。平成29以降は副理事長を務め組織運営に尽力している。また、現在、国民スポーツ大会トライアスロン競技の監督として、選手の指導育成に尽力するなど、本県トライアスロン界への多大な貢献をしている。
12	石山 市左エ門	平成10年4月1日～現在	山形県ダンス連盟副会長	山形県 ダンス 連盟	山形県ダンス連盟は、山形県内の社交ダンスに関するプロとアマチュア4団体が一つに統合して平成10年に現在の公益財団法人山形県スポーツ協会に加盟した。発足当時から山形県ダンス連盟の副会長を務め、連盟内の4団体が互いに協力し合いながら活動できるように努めるとともに、永年にわたりアマチュアの普及活動や本連盟が主催する各事業開催に尽力している。
13	山名 博和	平成26年5月24日～令和6年5月29日 平成28年4月～令和6年3月	上山市スポーツ協会副会長 上山市スポーツ少年団本部長	上山市 スポーツ 協会	上山市スポーツ協会の副会長として10年、また上山市スポーツ少年団本部長として6年務め、上山市のスポーツ振興に大いに寄与するとともに競技普及、競技力向上に貢献した。また、各種大会の企画運営に携わり、平成20年まで本市のスポーツ少年団の監督やコーチとして子供たちを指導し、スポーツの楽しさやチャレンジ精神など様々な価値を育むことに尽力した。

令和6年度 感 謝 状 受 賞 者

番号	氏 名	所属(旧所属)	役職
1	我妻 徳一	一般社団法人高畠町スポーツ協会	平成30年5月～令和6年5月 一般社団法人 高畠町スポーツ協会副会長 平成28年より高畠町体育協会の副理事長、平成30年より一般社団法人高畠町スポーツ協会副会長として尽力され、地域スポーツの普及振興に多大な業績を挙げた。永年にわたり豊富な経験と優れた見識をもって協会運営と発展に貢献した。